

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月9日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2970800146
法人名	医療法人 鴻池会
事業所名	琴 弾 の 家
所在地	御所市池ノ内1064 (電 話) 0745 - 62 - 8130
評価機関名	奈良県国民健康保険連合会
所在地	橿原市大久保町302-1
訪問調査日	平成19年7月13日

【情報提供票より】( 19年 6月 15日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 13 年 4 月 8 日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	8 人 常勤 8 人, 非常勤 人, 常勤換算 8 人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨ALC 造り 1階建ての 1階 ~ 階部分
------	----------------------------

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	32,700 円	
敷 金	有( 円)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 200000 円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	780 円		

### (4) 利用者の概要( 6月 15日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	3 名	要介護2		3 名	
要介護3	3 名	要介護4		0 名	
要介護5	0 名	要支援2		0 名	
年齢	平均 84.1 歳	最低	77 歳	最高	94 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人鴻池会 秋津鴻池病院
---------	----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

病院を中心に老人保健施設と複数の事業所施設を含む広いエリアの一部に位置しています。利用者の多くは、母体病院や老人保健施設を經由し「自立した生活」ができる期間を過ごし、将来レベルダウンした時は関係の施設などを利用できるという条件を望まれる方たちです。それゆえ利用者の介護度の平均は「2」未満で、利用者の「黒子に徹してサポートしよう」という、しっかりと経験をつまめたスタッフに見守られて、それぞれの力を日々の中で発揮しながら、「自分の家」として、生活しておられます。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	改善課題は、スタッフの制服について見直しはどうかという内容であり、検討されましたが、法人としては、利用者がスタッフを判別しやすいと考えられており、そのまま継続されています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	ホームは開設以来、何度も外部評価を受け、評価には十分な理解と限界を承知しておられ、改善課題とされたことでも、法人の方針を貫く強い意思をもって臨まれています。大規模な施設、法人から来る制約であったり考え方で、現場の「思い」が、即運営に反映するというわけに行かないこともありますが、サービスの質の向上を図るために、粘り強く取り組まることが望まれます。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	近隣住民に対し、協力依頼を目的としてホームの行事等の説明会を開催されていますが、運営推進会議は設置されていません。運営推進会議は外部の人々の目を通してホームの取り組み内容や具体的な改善課題を話し合ったり、地域の理解と支援を得るための貴重な機会です。ホームの姿勢が運営推進会議のメンバーの参加意欲にも反映されていきますので、メンバーの意見を反映する等積極的な取り組みが望まれます。また、行政からの参加がありませんが地域密着型サービスは市町村指定とされたことから、積極的に参加してもらえよう働きかけることが望まれます。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の訪問時にスタッフと直接意見交換されています。契約書には「常設窓口」の項目がありますが、市等の公的な窓口も紹介されてはいかがでしょうか。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	立地環境もあり地域との交流は希薄なものとなっていますが、ホームは地域密着型として位置付けられたことから、利用者一人ひとりが地域とつながりながら暮らせるよう支援することが求められています。地理的な立地に加え、病院エリアの中での立地という二重の難しさがありますが、近くの県立高校との交流や自治会等に加入する等、検討されてはいかがでしょうか。

## 2. 評価結果(詳細)

( ■ 部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	スタッフは「利用者が主人公、スタッフは黒子としてサポートする」という思いで関わられています。		グループホームが「地域密着型サービス」として位置付けられ、ホーム内の生活だけではなく、地域との関係性が重視されるようになりましたので、当ホームにとっての「地域密着」について、再考されてはいかがでしょうか。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝礼や全員参加で開かれる月1回のカンファレンスで話し合う等、理念の徹底を図る取り組みをされています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	立地環境もあり地域との交流は希薄なものとなっています。		ホームは地域密着型として位置付けられたことから、利用者一人ひとりが地域とつながりながら暮らせるよう支援することが求められています。地理的な立地に加え、病院エリアの中での立地という二重の難しさがありますが、近くの県立高校との交流や自治会等に参加する等、検討されてはいかがでしょうか。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ホームは開設以来、何度も外部評価を受け、評価には十分な理解と限界を承知しておられ、改善課題とされたことでも、法人の方針を貫く強い意思をもって臨まれています。大規模な施設、法人から来る制約であったり考え方で、現場の「思い」が、即運営に反映するというわけに行かないこともあります。		外部評価は外部者による、自己評価では課題が見落とされやすい、事業所側の見方に陥りやすい、事業所の事情で改善があきらめがちな項目の調査を通じ、事業所が改善の必要性を気付くきっかけとなることが期待されていますので、サービスの質の向上を図るために、粘り強く取り組まれることが望まれます。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	近隣住民に対し、協力依頼を目的としてホームの行事等の説明会を開催されていますが、運営推進会議は設置されていません。		運営推進会議は外部の人々の目を通してホームの取り組み内容や具体的な改善課題を話し合ったり、地域の理解と支援を得るための貴重な機会です。ホームの姿勢が運営推進会議のメンバーの参加意欲にも反映されていきますので、メンバーの意見を反映する等積極的な取り組みが望まれます。また、行政からの参加がありませんが地域密着型サービスは市町村指定とされたことから、積極的に参加してもらえるよう働きかけることが望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームとして積極的な取り組みは見られません。		市町村は、介護保険の保険者としてはもちろん、市民福祉を推進する地方自治の最前線の立場として、事業の推進において大変重要な存在です。地域密着型サービスとして、これを機に、積極的な連携に取り組むことが期待されます。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問時に、直接意見交換や報告されている他、出来事や体調の状態等も電話で報告されています。キーパーソンを把握され、家族以外の親族などが訪問された時にはその事実と交流内容も報告されています。琴弾の家たよりを定期的に発行し利用者の暮らしぶりを知らせるようにされています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時にスタッフと直接意見交換されています。		契約書には「常設窓口」の項目がありますが、市等の公的な窓口も紹介されてはいかがでしょうか。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの職員が対応することが重要と考え、基本的には、職員を固定化し、利用者へのダメージを防ぐ工夫をされています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	配置されて複数年の間には、認知症基礎研修を受けられ、また、リーダーが外部研修の伝達をされるなどの取り組みをされています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国グループホーム協会に入会し、県内の同業者との交流が行われています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	1ヶ月間の体験入所からそのまま確定入所という流れにする等、家族等と相談しながら徐々に馴染めるよう工夫されています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	日々の生活を通じ利用者から教えてもらう場面が多く持つようセティングする等工夫されています。スタッフと利用者が楽しく冗談を言い合って笑い声此起彼伏等、共に過ごし支えあう関係を築くように配慮されています。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	声かけ、目配り、共同作業等、日々のかかわりの中で、利用者の動きや表情を汲み取り把握されています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題やケアのあり方について、本人や本人をよく知る関係者の気付きや意見、アイデアを出し合い、話し合った結果を基にスタッフ全員で話し、介護計画を作成されています。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	毎月のカンファレンスや日々の状態や本人・家族の意向を汲んで、基本的には3ヵ月毎の見直しされています。状態変化があった場合は、期間が終了する前であっても検討見直しが行われています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	連携病院が法人の母体であり、さらに別の連携病院がある等、医療連携体制を活かして、早期の対応や入退院支援がされています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主として、法人母体の病院で受診されますが、本人・家族の希望される医療機関を受診出来るよう支援されています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームの方針として、終末までの介護に対応していないことを入所契約時点で納得を得ておられます。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個別の声かけは、人前であからさまにするのではなく、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげなくするように配慮されています。また、記録等は事務所あるいは法人事務局で適切に保管されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	楽しみながらの食事作りや、冗談を言い合って、スタッフと荷物を運ばれたり、思い思いのペースで過ごせるようにする他、入浴時間についても、希望に沿って出来るよう支援されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者がジャガイモをむいたり切ったり、それぞれの得意な点を生かし、利用者とスタッフのチームワークよく食事づくりされています。スタッフも一緒にテーブルを囲み、食材を話題にしたり、会話を弾む等、楽しく食事ができるよう雰囲気づくりを大切にされています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	食後に入浴される方や夜9時頃でも、また、日に何回も入浴される等一人ひとりの希望にあわせて、入浴できるよう支援されています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ホーム内での作業のほかに、畑でトマトやきゅうりを作ったり、梅干のシソ干しや、糠漬け作業等利用者の経験や知恵を発揮する場面が作られています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	法人エリア内での散歩や売店への外出のほか車で市街地への買い物、市民ホールでのコンサート、地域の温泉等、戸外に出かけられています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の行動パターンを把握し、目配り、声かけ等見守りの下で、日中鍵をかけないでも安全に過ごせるよう配慮されています。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年1回火災訓練を実施されています。消防署も近くにあり、連携が作られています。また、災害等に備え食料等の物品を準備する他、職員だけの誘導の限界を踏まえて地域の人々の協力が実際に得られるよう対策を検討されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事をチェックし、栄養摂取や水分量を把握されていませ		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングからは、葛城山を遠望し、森や畑などが、明るい自然光とともに目に出来るよう配慮し、季節感を取り入れる他、食事を囲むテーブルのほかにも、ソファセット、玄関の外に椅子などの配置を利用者にとって使いやすくなる等居心地よく過ごせるよう工夫されています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、トイレ、洗面台が設えられている他、ベッド、チェスト、デスクと椅子を設置されていますが、利用者の生活スタイルや好みに合わせて配置されています。また、家具としての持込は多くはありませんが、ハンガー、鏡、飾り物等馴染みの身の回りのものが持ち込まれ、利用者の居心地の良さに配慮されています。		